

数馬峡ボルダー

以前、「海沢出合ボルダー」として紹介したが、白丸ダム
の水位が上昇すると、このボルダー付近まで瀦状のきれいな
渓谷となるので、「数馬峡ボルダー」と名称を変更した。この
ボルダーは青梅街道側と反対の右岸にあり、青梅街道からも
良く見える。いわゆる「数馬の岩場」とは全く別の岩である。

ボルダーへは、白丸の数馬の切通し手前の観光用駐車場
から数馬峡橋を渡り、アースガーデンの横から遊歩道に入り
上流方面へ行く。暫く行くとトンネルから林道になるが、その
先で、右下に大きなボルダーが確認できる。

アプローチ用の踏み跡は不明瞭だが、岩が見える真上辺
りからガードレールを越えて植林の中を降りていくとボルダーにつくが、ボルダーの手前辺りは藪
が多いので鎌を持っていくと良い。

昔はこの林道先の民家がある辺りから階段を下りてアプローチしたが、現在は降りてからの川沿
いの踏み跡は、完全に藪になってしまっているので、入り込まない方が良い。

ボルダーへの行き方としては、青梅街道の道路ふくらみに車を置いて、地図のように、海沢大橋
方面から回ってくる方法があるが、アップダウンもあり、また正規の駐車場ではなく不安でもあるの
で、前記のアプローチが良いと思われる。

ここではA岩のみを紹介するが、B岩については、マントルとリップトラヴァースの課題が3つほ
どあるだけである。



●A岩

このボルダーの川側は砂利の川原となっ
ているが、白丸ダムの水位が上昇すると、河
原が水没してしまい川側のカンテラインなど
は登れなくなってしまう。

ボルダーの高さは8m程で、西面は6m程、
山側は3m程である。岩上に昔のクライマー
が打ったと思われるハーケンが2本見受け
られるが、トライ前の掃除や、トップロープト
ライなどで使えるのでそのままにしてある。実際全体的な掃除にはロープが必要である。

課題は西面の両サイドと山側のフェイスに何本かあるが、今後の課題としては、西面の中央部分
が考えられる。ど真ん中は厳しいが、少し右寄り、左寄りはホールドが続いているので、近頃の
力あるボルダラーなら登れるだろう。ハイボルダーだが核心は下部で、上部は落ち着いて登れば
問題なさそうである。下地は少し整備したので、マットがあれば安心してトライできると思う。

いずれにしても、上部はロープで下降しながら掃除とホールドチェックを必ず行った方が良い。

